

クリスマスカップ 試合についての確認事項 (トーナメント戦)

必 読

◆ゲーム規定

審判は当該審判でお願いします。球審は話し合いで決めてください。(審判服着用必須)

- 時間制： 全試合90分(決勝含む)
- コールド： 4回10点・5回7点
- 同点時： 時間切れ終了で同点の場合→特別延長戦へ
6回終わって同点の場合→特別延長戦へ
- 試合成立 5回完了時とします
- 特別延長： 継続打順・無死走者2塁1塁・1回のみ
- 抽選： 特別延長で決着がつかなかった場合、監督同士でじゃんけん(1発勝負)
※負けた監督は選手に謝ってください。

◆ピッチャー関連

- 投数制限： 『1人1日70球まで【特別延長戦の球数も含む】』とします。
ダブルヘッターの場合は2試合合計の球数とする。
- 球数のカウントは各チームのスコアラーがおこない60球の時点で球審に申告する。
- 投手に関わるシート変更： たとえ同一イニング中でも**無制限**とします。(打者1人に投げる義務はある)
- 『監督が同一投手のもとへ同一イニングに2度行けば、投手交代(降板)しなければならない』：
このルールが適用されて降板する投手に限り、そのイニング中の再登板は不可能です。(全軟連規定どおり)
- 投手が手に息を吹きかけること、カイロを所持すること、ボールをユニフォームで拭くことを認めます。
- 投手に限り以下は禁止(外から見えるもの)： 手袋・リストバンド・ミサンガ・サングラス・
ネックウォーマー・サポーター・テーピング・絆創膏 等(※投手以外は制限ありません)

◆作戦タイム関連

- 作戦タイムの制限は簡略化し、各チーム1試合につき『守備中・攻撃中 各3度まで(特別延長戦は1イニングに各1回まで)』とします。選手のみでも監督が加わっても一律にカウントします。
捕手と投手2人きりでもカウント。タイムのカウント判断と管理は、グラウンド上の球審がおこないます。
- 監督が投手のもとへ行く場合は、駆け足で投手板付近に集まってください。

◆監督コーチ関連

- 審判への抗議・確認と選手の交代通告は、監督のみに限定します。
ただし、ボール・ストライクに関する裁定(変化球判断を含む)への抗議は一切不可です。
- ベースコーチは登録選手のみとします。ベースコーチ不在の状態でも試合はそのまま進行させます。
- 監督・コーチのロングパンツは認めません。
- グラウンドに入れるのは背番号(30・29・28)のみ。試合中は監督(30)のみです。

◆グラウンドルール

- 試合開始まえに審判員もしくは大会役員に確認してください。

◆試合結果報告

- 試合終了後は勝利チームが必ず試合結果を本部に報告してください。

★上記以外は2023公認野球規則及び別に定める特別規則を適用します。

この大会は新チームによる親睦交流を目的としています。
勝敗にこだわり過ぎてエキサイトしないようお願いいたします。